

令和6年度自殺未遂者ケア研修「第1回一般救急版」募集要項

本研修は、初期対応からアセスメントまで、救急医療の現場で役立つ自殺未遂者のケース・マネジメントのポイントを、日本臨床救急医学会が自殺対策の専門家とともに策定したガイドラインに沿って知識として体系的に習得していただくとともに、モデル症例を用いた多職種ワークショップを通じてケース・マネジメントの実践を学んでいただく内容です。

講師とファシリテーターは、自殺未遂者の包括的ケアを実践している専門家・専門職が務めます。

事前 e ラーニング導入により、対面研修プログラムの時間が短くなり、ご参加いただきやすくなりました。

全プログラム(事前 e ラーニング及び対面研修プログラム)受講可能な方のご参加をお待ちしております。

- 主 催： 厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター
- 共 催： 一般社団法人日本臨床救急医学会、一般社団法人日本精神科救急学会
- 日 時： ① 事前 e ラーニング： 令和6年4月中旬～5月15日(水)
② 対面研修プログラム： 令和6年5月18日(土)12:30～17:00(開場 11:45)
※事前 e ラーニングの受講を5/15(水)までに完了した方に限り、対面研修に参加いただけます。
- 会 場： (対面研修)東京駅周辺 ※受講者には4月中旬に研修会場の詳細をお知らせします。
- 対 象 者： 救急医療に従事する医師、看護師、ソーシャルワーカー、救急救命士、保健師ほか
地域救急医療や地域精神保健福祉に関わる方
- 定 員： 60名程度(同一医療機関から複数名・複数職種の方のご参加を歓迎いたします。)
- 参 加 費： 無料
- 申し込み： 令和6年3月18日(月)～4月14日(日)
Web サイト内の専用フォーム：<https://jscp.or.jp/news/240318.html>
* 定員に達し次第、申込受付を終了します



【参加にあたってのお願いと注意事項】

- 1 受講確定後、4月中旬に、事前 e ラーニングのご案内をメールでお送りいたします。
- 2 事前 e ラーニング(計 90 分程度)は、5/15(水)までに研修システム上で受講いただきます。(★)
インターネット環境、動画再生・音声出力ができるパソコンを各自ご準備ください。
- 3 事前 e ラーニングの受講を期限までに完了した方に限り、対面研修に参加いただけます。
また、事前 e ラーニングおよび対面研修のプログラムを全て受講された方には、修了証を発行します。
- 4 自殺未遂の症例を扱うため、気分不快などをきたすことがありますので、ご留意ください。
- 5 受講者の方による写真撮影および録音・録画は、お断りいたします。
主催者は研修の記録のために対面研修プログラムの様子を撮影いたします。
- 6 本研修配布資料の無断転用も固くお断りします。

(★)事前 e ラーニング推奨環境

※パソコンから受講、OS・ブラウザとも必ず最新版へアップデートを行ってください。

・OS: Windows10、Windows11、MacOS

・ブラウザ: Microsoft Edge、Google Chrome、Safari

・回線速度: 動画を利用しておりますので、インターネット速度は下り 30Mbps 以上を推奨しております。

10Mbps～30Mbps では映像に乱れや受講に問題がある場合があります。

<プログラム> ※プログラムは一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。

■事前 e ラーニング(講義動画視聴) *各講義 20 分程度

- ・講義1:「自殺未遂者支援・ケアに関する施策と医療の動向」
河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)
- ・講義2:「一般救急医療における自殺未遂者への対応～基本的な理解と多職種による支援・つなぎ～」
三宅 康史(帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長・教授)
- ・講義3:「もう一つの精神科救急:自死遺族対応」
大塚 耕太郎(岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授)
- ・講義4:「エビデンスに基づく自殺未遂者医療:診療報酬項目“救急患者精神科継続支援料”」
河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)
- ・理解度確認テスト

■対面研修プログラム

- ・司会: 伊江 昌子(いのち支える自殺対策推進センター)
- 12:30～12:35 【開会挨拶】
- ・挨拶: 清水 康之(いのち支える自殺対策推進センター・代表理事)
三宅 康史(日本臨床救急医学会「自殺企図者のケアに関する検討委員会」委員長)
河西 千秋(一般社団法人日本精神科救急学会)
- 12:35～13:05 【講義】「自殺未遂者ケア・ガイドライン」ほか
河西 千秋(札幌医科大学医学部神経精神医学講座・主任教授)
大塚 耕太郎(岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授)
- 13:05～13:10 【質疑応答】
- 13:10～16:40 【ワークショップ】「自殺未遂者に対するケース・マネジメント」*途中適宜休憩
- ・司会: 大塚 耕太郎(岩手医科大学医学部神経精神科学講座・教授)
三宅 康史(帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長・教授)
- 16:40～16:50 【質疑応答】
- 16:50～17:00 【閉会挨拶】【アンケート】
- ・挨拶: 清水 康之(いのち支える自殺対策推進センター・代表理事)

※かかりつけ医等の方には自殺未遂者ケア研修「かかりつけ医版」へのご参加をお勧めいたします。自殺未遂者ケア研修「かかりつけ医版」は、「地域社会からの孤立の状況等により、精神疾患が増悪するおそれがあると認められるもの又は精神科若しくは心療内科を担当する医師による療養上の指導が必要であると判断されたもの」に適切に対応するためのスキル等を習得するための研修内容となっています。また、精神科医・心療内科医の方は自殺未遂者ケア研修「精神科救急版」への参加を推奨いたします。

【お問い合わせ】

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター
自殺未遂者ケア研修事務局

E-mail: care#jscp.or.jp (←「#」を「@」に置きかえて送信ください)